

平成16年度秋冬作野菜花き関係 除草剤・生育調節剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会

平成16年度秋冬作野菜花き関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、平成17年7月12日(火)に玉造温泉ゆ〜ゆにおいて開催された。

この検討会には、試験場関係者31名、委託関係者15名ほか、計55名の参集を得て、除草剤16薬剤(59点)、生育

調節剤12薬剤(29点)について、試験成績の報告と検討が行われた。

その判定結果および使用基準については、次の判定表に示す通りである。

平成16年度 秋冬作野菜花き関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定一覧

A. 野菜関係除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種類 新・継 の別	試験担当場所 (数)	試験設計 [対象雑草;ねらい] ・処理時期 薬量g・mL<水量L>/10a 処理方法等	判 定	内 容
1. AH-01液 (S)-2-アミノ-4-[ヒトロキシ(メチル)ホスフィノイル]ブタン酸ナトリウム塩 10.5% [明治製菓]	タマシ	適用性 継続	和歌山農試 兵庫淡路 佐賀白石 (3)	[一年生雑草] ・定植前 雑草生育期 300mL<100, 150L>, 500mL<100L> 全面茎葉処理 対) バスタ液剤 300mL<100L>	実 ・ 継	実) [秋播栽培;一年生雑草] ・定植前 雑草生育期 (草丈30cm以下) 300~500mL<100~150L>/10a 全面茎葉処理. ・生育期 雑草生育期 300~500mL<100~150L>/10a 畦間茎葉処理. 注) 雑草の草丈30cm以下で散布 する。 作物に飛散しないように散 布する。 継) 土壤水分条件と薬害の検討.
	タマシ	適用性 継続	和歌山農試 兵庫淡路 佐賀白石 (3)	[一年生雑草] ・生育期 雑草生育期 300mL<100, 150L>, 500mL<100L> 畦間茎葉処理 対) バスタ液剤 300mL<100L>		
2. ANK-553乳 ベンデメタリン 30% [BASFアグロ]	ニンニク	適用性 継続 (自主)	青森畑園試 (1)	[一年生雑草(キ科、ツクサを除く)] ・植付前 マル前 雑草発生前 300, 500mL<100L> 土壌処理 (マル内)	実	実) [一年生雑草(キ科、ツクサを除く)] ・植付前 マル前 雑草発生前 300~500mL<70~100L>/10a 土壌処理. ・植付直後 雑草発生前、 春期生育期 雑草発生前 300~500mL<70~100L>/10a 全面土壌処理.

A. 野菜関係除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草;ねらい] ・処理時期 薬量g・mL<水量L>/10a 処理方法等	判 定	内 容
3. ANK-553細粒 ベンディメタリン 2% [BASFアグロ]	タマシ	適用性 継続	香川農試 佐賀白石 長崎総農試 (3)	[一年生雑草(キ科、ユクサを除く)] ・定植前 マルチ前 雑草発生前 4, 5, 6kg 土壌処理 (マルチ内) 対) コンボラ粉粒剤 5kg	実	実) [一年生雑草(キ科、ユクサを除く)] ・定植前 マルチ前 雑草発生前 4~6kg/10a 土壌処理. ・定植後 秋期雑草発生前、春期 雑草発生前 4~6kg/10a 全面土壌処理.
	ニンニク	適用性 新規 (自主)	青森農総研 青森畑園試 (2)	[一年生雑草(キ科、ユクサを除く)] ・定植前 マルチ前 雑草発生前 4, 6kg 土壌処理 (マルチ内)	実・ 継	実) [一年生雑草(キ科、ユクサを除く)] ・植付前 マルチ前 雑草発生前 4~6kg/10a 土壌処理. ・植付後 萌芽前 雑草発生前 4~6kg/10a 全面土壌処理. 継) マルチ前処理の年次変動の確認.
4. Hoe-866液 グロホシネート 18.5% [ハニエル クロップサイエンス]	ホウレンソウ	適用性 継続	三重科学技術 奈良農技 兵庫農技 広島農技 福岡農総試 大分野菜宇佐 (6)	[一年生雑草] ・播種前 雑草生育期 300mL<100, 150L>, 500mL<100L> 全面茎葉処理 対) フリクソックスL液剤 600mL<100L>	実	実) [秋播栽培;一年生雑草] ・播種前 雑草生育期 (草丈30cm以下) 300~500mL<100~150L>/10a 全面茎葉処理.
5. MON-96A液 グリホサートアンモニウム塩 41% [日産化学工業]	ホウレンソウ	適用性 継続	三重科学技術 兵庫農技 福岡農総試 大分野菜宇佐 鹿児島大隅 (5)	[一年生雑草] ・耕起または播種7日以前 雑草 生育期 250mL<25, 50, 100L>, 500mL<25, 100L> 全面茎葉処理	実	実) [秋播栽培;一年生雑草] ・耕起または播種7日以前 雑草生 育期 (草丈30cm以下) 250~500mL<25~100L>/10a (25~50Lは専用ノズル使用) 全面茎葉処理.
	タマシ	適用性 継続	長野野菜花き試 兵庫淡路 香川農試 (3)	[一年生雑草] ・耕起または定植7日以前 雑草 生育期 250mL<25, 50, 100L>, 500mL<25, 100L> 全面茎葉処理	実	実) [秋播栽培;一年生雑草] ・耕起または定植10日以前 雑 草生育期 (草丈30cm以下) 250~500mL<25~100L>/10a (25~50Lは専用ノズル使用) 全面茎葉処理. ・生育期 雑草生育期 250~500mL<25~100L>/10a (25~50Lは専用ノズル使用) 畦間茎葉処理. 注) 雑草の草丈30cm以下で散布 する。 作物に飛散しないように散 布する。

A. 野菜関係除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 薬量g・mL<水量L>/10a 処理方法等	判 定	内 容
6. MRS-195液 ク ^レ リホサートイソフ ^ロ ロヒ ^ド ルアミン 塩 41% [ニューファム]	タマネ ^コ	適用性 新規	長野野菜花き試 兵庫淡路 佐賀白石 鹿児島大隅 (4)	[一年生雑草] ・ 耕起または定植7日以前 雑草 生育期 250mL<50, 100L>, 500mL<100L> 全面茎葉処理 対) 三共の草枯らし 500mL<100L>	継	継) 効果、薬害の確認。
7. NH-007フロア ^ス フル ピ ^ラ フルフェンエチル 0.16% ク ^レ リホサートイソフ ^ロ ロヒ ^ド ルアミン 塩 30% [日本農薬]	ハウサイ	適用性 新規	植調研究所 奈良農技 兵庫農技 鹿児島大隅 (4)	[一年生雑草] ・ 耕起または定植7日以前 雑草 生育期 400, 500, 600mL<100L>, 全面茎葉処理 対) 三共の草枯らし 500mL<100L>	継	継) 効果、薬害の確認。
8. NKD-001液 クロルピ ^ク リン 35% 1, 3-D 60% [日本化薬、タ ^ウ ウ・ケミカル 日本]	ホレンソウ	適用性 継続	奈良農技 広島農技 鹿児島大隅 (3)	[一年生雑草] ・ 播種10~15日以前 30L (3mL/1穴) 土壌灌注処理 対) クロルピ ^ク リン液剤 30L (3mL/1穴)	実	実) [秋播栽培; 一年生雑草] ・ 播種10~15日以前 雑草発生前 30L/10a 土壌灌注処理。 注) 処理後10日以上ホ ^リ フィルム等で 被覆し、播種1~2日以前にか ^ス 抜きを十分行う。
	タ ^ウ イコン	適用性 新規	植調研究所 鹿児島大隅 (2)	[一年生雑草] ・ 播種10~15日以前 30L (3mL/1穴) 土壌灌注処理 対) クロルピ ^ク リン液剤 30L (3mL/1穴)	継	継) 効果、薬害の確認。
9. SYJ-100乳 プロスルホカ ^ル ブ ^ス 800g/L [シンジエンタ ^シ ジャパン]	タマネ ^コ	作用性 新規	植調研究所 (1)	[一年生雑草] ・ 定植後 雑草発生前 400, 500mL<100L> 全面土壌処理 対) ゴ ^ウ -ゴ ^ウ -サン乳剤 300mL<100L> ・ 定植後 雑草発生始期 400, 500mL<100L> 全面土壌処理 対) ゴ ^ウ -ゴ ^ウ -サン乳剤 300mL<100L>	継	継) 効果、薬害の確認。
	タマネ ^コ	適用性 新規	兵庫淡路 佐賀白石 宮崎畑園 鹿児島大隅 (4)	[一年生雑草] ・ 定植後 雑草発生前 400, 500mL<100L> 全面土壌処理 対) ゴ ^ウ -ゴ ^ウ -サン乳剤 300mL<100L>		

A. 野菜関係除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草:ねらい] ・処理時期 薬量g・mL<水量L>/10a 処理方法等	判 定	内 容
10. YF-65L液 ジクワットシプロミト 7% バレートシクロリト 5% [シシエンタ ジャパン]	サヤエンドウ	適用性 継続	植調研究所 植調三重 和歌山農試 <鹿児島農試> (4)	[一年生雑草] ・生育期 雑草生育期 600, 800, 1000mL<100L> 畦間茎葉処理	実	実) [一年生雑草] ・生育期 雑草生育期 600~1000mL<100L>/10a 畦間茎葉処理. 注) 雑草の草丈 30cm 以下で散布 する。 作物に飛散ないように散 布する。
11. ZK-122液 クワサートカリウム塩 43% [シシエンタ ジャパン]	タマネギ	適用性 新規	植調研究所 兵庫淡路 佐賀白石 (3)	[一年生雑草] ・定植後 雑草生育期 250mL<25, 50L>, 500mL<50L> 畦間茎葉処理 対) ラウンドアップハイロード液剤 250mL<50L>	継	継) 効果、薬害の確認。
12. トリフルリン乳 トリフルリン 44.5% [タウケカル日本]	ニンニク	適用性 継続	青森畑園試 (1)	[一年生雑草(ツクサ、カヤツリグサ、キク、ア ブナ科を除く)] ・植付前 マルチ前 雑草発生前 300mL<100L> 土壌処理 (マルチ内)	実	実) [一年生雑草(アブナ科、キク科、カ ヤツリグサ科、ツクサを除く)] ・植付前 マルチ前 雑草発生前 300mL<100L>/10a 土壌処理. ・植付後、春期中耕後 300mL<100L>/10a 全面土壌処理.
13. トリフルリン粒 トリフルリン 2.5% [タウケカル日本]	ニンニク	適用性 新規	青森農総研 青森畑園試 (2)	[一年生雑草(ツクサ、カヤツリグサ、キク、ア ブナ科を除く)] ・植付前 マルチ前 雑草発生前 5kg 土壌処理 (マルチ内)	実 ・ 継	実) [一年生雑草(アブナ科、キク科、カ ヤツリグサ科、ツクサを除く)] ・植付前 マルチ前 雑草発生前 5kg/10a 土壌処理. ・植付後、春期中耕後 5kg/10a 全面土壌処理. 継) マルチ前処理の年次変動の確認。

B. 平成16年度春夏作分 野菜関係除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草:ねらい] ・処理時期 薬量g・mL<水量L>/10a 処理方法等	判 定	内 容
1. Hoe-866液 ケルボネート 18.5% [ハイエール クロップ サイエン ス]	ブロッコリー	適用性 継続	福岡農総試 (1)	[一年生雑草全般] ・生育期 雑草生育期 300mL<100, 150L>, 500mL<100L> 畦間茎葉処理 対) プリグロックスL液剤 600mL<100L>	実	実) [一年生雑草] ・生育期 雑草生育期 300~500mL<100~150L>/10a 畦間茎葉処理. 注) 雑草の草丈 30cm 以下で散布 する。 作物に飛散ないように散 布する。

B. 平成16年度春夏作分 野菜関係除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草;ねらい] ・ 処理時期 薬量g・mL<水量L>/10a 処理方法等	判 定	内 容
2. SB-508乳 ジメナミト 76% [BASF77g°p]	ブロッコリー	適用性 継続	福岡農総試 (1)	[一年生雑草全般(アザ科、アカザ科、 アブラナ科を除く)] ・ 定植後 雑草発生前 75, 100, 125mL<100L> 全面土壌処理	実	・ 前回判定どおり.

C. 花き関係除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草;ねらい] ・ 処理時期 薬量g・mL<水量L>/10a 処理方法等	判 定	内 容
1. Hoe-866液 グリホシネート 18.5% [ハイエル クロップ サイエンス]	チューリップ	適用性 継続	新潟農総園研 富山野菜花き試 鳥取園試 (3)	[一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 300mL<100, 150L>, 500mL<100L> 畦間茎葉処理	実	実) [一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 300~500mL<100~150L>/10a 畦間茎葉処理. 注) 雑草の草丈 30cm 以下で散布 する。 作物に飛散ないように散 布する。

D. 野菜関係生育調節剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [ねらい] ・ 処理時期 薬量g・mL<水量L>/10a 処理方法等	判 定	内 容
1. KUH-833FL7077フル ブローキシノオンCa 1% [クワイ化学工業]	イチゴ	適用性 継続	静岡海岸砂地 島根農技 香川農試 (3)	[育苗期の伸長防止] ・ 育苗期 (定植30~50日前) 300, 400倍<5mL/株> 茎葉処理 対) ビーフル フロアフル 500倍<5mL/株>	実 継	実) [促成栽培;育苗時の伸長抑制] ・ 定植前30~50日前後 300~400 倍<5mL/株>, 500 倍<5~10mL/株> 茎葉処理. 継) 水量と効果、葉害の確認。
2. NB-35液 特殊海藻クリーム、窒素 7%、りん酸 4%、加里 3%、苦土 2%、マンガン 0.2%、ほう素 1%、鉄 0.1%、銅 0.05%、亜鉛 0.05%、モリブデン 0.1% [日本曹達]	メロン(ネット系)	作用性 継続	<茨城園研> (1)	[品質向上 (果実の肥大促進、糖 度向上、ネット形成促進) ・ 交配前 7日おき3回散布 1000倍 茎葉処理 ・ 着果後 7日おき3回散布 1000倍 茎葉処理	一	
3. NOK-1液 E. cloacae No. 11-5株 培養ろ液(イソノール酢 酸 120 μg/ml) [EKK77g°pサイエンス]	イチゴ	適用性 新規	静岡海岸砂地 奈良農技 (2)	[育苗期の発根促進] ・ ランナー切り直後および切り離 し2週間後 2回散布 10a当りの定植苗7000~8000本 に対し100mL<50~100L> 葉面散布	継	継) 効果の確認。

D. 野菜関係生育調節剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [ねらい] ・処理時期 薬量g・mL<水量L>/10a 処理方法等	判 定	内 容
4. NSH-1液 シイタケ菌糸体抽出物 1% [野田食菌工業]	ニンニク	適用性 継続	青森畑園試 和歌山暖地 香川農試 (3)	[品質向上(肥大促進)] ・鱗片分化期以降から肥大初期の 間 7日おき3回散布 300倍×3回, 500倍×3回 <100L> 葉面散布 対) サンキャッチ液剤 300倍 1回散布	継	継) 効果の確認.
5. PB-50水和 <i>penicillium bilaii</i> 1.0×10 ⁸ cfu/g [保土谷化学工業]	タマネギ	作用性 新規	兵庫淡路 (1)	[肥大促進] ①移植前日 ②移植1週間前 ③移植2週間前 2500, 5000倍<200mL/トレイ> 土壌処理	継	継) 効果の確認.
	タマネギ	適用性 新規	長野野菜花き試 和歌山農試 佐賀白石 (3)	[肥大促進] ・移植1週間～2週間前 2500, 5000倍<200mL/トレイ> 土壌処理		
	ラッキョウ	作用性 新規	鳥取園試 (1)	[初期生育促進および活着促進] ・植付時 100, 200, 400倍 種球浸漬処理 (30分)	一	
	ニンニク	作用性 新規	香川農試 (1)	[肥大促進] ・植付時 100, 200, 400倍 種球浸漬処理 (10分) ・生育初期 10000, 20000倍<100L> 土壌処理	一	
6. YIAA液 インドール酢酸 1% [横山生化学研究所]	イチゴ	適用性 新規	長崎総農試 鹿児島農試 (2)	[発根促進および果実の肥大促進] ・育苗期または本圃 14日おき ①10000～15000倍<1000L> 灌注処理, ②5000～10000倍<200L> 葉面散布	継	継) 効果の確認. 処理方法の検討.
7. AKD-8151(L)液 1-ナフタレン酢酸ナトリウム 0.2% [アケカネショウ]	メロン	適用性 新規	千葉暖地園研 静岡農試 高知農技 熊本農研 宮崎総農試 (5)	[果実肥大およびネット形成促進] ・縦ネット発生期および横ネット 発生期 2回散布 500, 1,000, 2,000 倍 <100 ~ 200mL/株> 株散布	実・ 継	実) [果実肥大及びネット形成促進] ・縦ネット発生期及び横ネット発 生期 1000～2000倍<100～200mL/株> 株散布. 継) 効果の年次変動の確認.
8. IKS-6液 インドール酢酸 1% カイネチン 0.1% [横山生化学研究所]	イチゴ	作用性 新規	長崎総農試 (1)	[発根促進および果実の肥大促進] ・育苗期または本圃 14日おき ①10000～15000倍<1000L> 灌注処理, ②5000～10000倍<200L> 葉面散布	一	

D. 野菜関係生育調節剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計 [ねらい] ・処理時期 薬量g・mL<水量L>/10a 処理方法等	判定	内 容
9. NBS-136液 イントール酢酸 0.1% カイネン 0.01% [日本バイオシステム研究 所]	イチゴ	作用性 継続	福岡農総試 (1)	[品質向上、空洞化防止、軟化防 止等] ・定植5日後より収穫終了15日前 まで 15日おき 10000~15000倍<600L> 灌注処理 (液肥と混用) ・定植10日後より収穫終了7日前 まで 10日おき 20000~25000倍<200~300L> 葉面散布 (液肥と混用)	一	
10. シベレリン液 シベレリン 0.5% [日本シベレリン研究 会]	ゴボウ	適用性 継続 (自主)	鹿児島大隅 (1)	[休眠打破による生育促進] ・生葉2枚展開期(12~1月) ①10, 15ppm<100L> 1回処理 ②10, 15ppm<100L> 2回処理 茎葉処理	実	実) [促成栽培; 休眠打破による生 育促進] ・休眠に入る直前 (残葉2枚程度 の頃) 及びその約1ヶ月後 1~2回処理 10~15ppm 茎葉処理.

E. 花き関係生育調節剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計 [対象雑草; ねらい] ・処理時期 薬量g・mL<水量L>/10a 処理方法等	判定	内 容
1. DNK-01液 シアナト 13% [電気化学工業]	サクラ	適用性 新規	山形農総研 埼玉深谷 (2)	[休眠打破による発芽促進] ・休眠期 (促成開始前) 30倍 ①切り枝全面散布 ②切り枝浸漬 対) CX10液 20倍	継	継) 効果、薬害の確認.
2. シベレリン水溶 シベレリン 3.1% [日本シベレリン研究 会]	リントウ	適用性 新規 (自主)	岡山農試北部 (2)	[生育促進] ・①定植1週間後 ②定植5週間後 100ppm 茎葉散布	実	実) [生育促進] ・定植直前または定植1~5週間後 100ppm 茎葉散布.